



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月6日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6590 URL <https://www.shibaura.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）今村 圭吾

問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経営管理本部長 （氏名）今井 晋二 TEL 045-897-2425

半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有（当社ウェブサイトには決算説明資料を掲載予定です。）

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・メディア向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	42,277	16.2	7,572	31.7	7,369	32.8	5,317	29.7
2025年3月期中間期	36,391	19.3	5,748	14.6	5,550	10.3	4,099	5.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 5,198百万円（18.2%） 2025年3月期中間期 4,396百万円（7.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	405.30	—
2025年3月期中間期	312.72	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	95,989	48,941	51.0	3,728.04
2025年3月期	95,244	47,317	49.7	3,607.81

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 48,941百万円 2025年3月期 47,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	278.00	278.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	238.00	238.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,500	3.2	12,500	△11.6	12,100	△13.4	8,900	△13.8	678.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	13,971,900株	2025年3月期	13,971,900株
2026年3月期中間期	843,971株	2025年3月期	856,557株
2026年3月期中間期	13,119,661株	2025年3月期中間期	13,108,264株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結貸借対照表に関する注記)	9
(中間連結損益計算書に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(収益認識に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

①業績全般について

当中間連結会計期間における当社グループの事業環境は、半導体業界においてはA I 需要の高まりに牽引され、A I に関連するロジック／ファウンドリ向け、メモリ向けなどの設備投資が堅調に推移しました。一方、パワーデバイス向けは市場が減速し、低調に推移しました。F P D (Flat Panel Display) 業界においては全般的に設備投資が低調な状況が継続しました。

このような環境の中、当中間連結会計期間の業績は、売上高は、前年同期に比べ、半導体分野が順調に推移し増加、低調に推移したF P D分野及び新紙幣発行に伴う機器更新の需要が収束した流通機器分野が減少し、全体では42,277百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

利益面では、半導体分野の売上増加により営業利益が7,572百万円（前年同期比31.7%増）、経常利益が7,369百万円（前年同期比32.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益が5,317百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

なお、受注高は、半導体前工程では顧客の投資時期の変更もあり、高水準であった前年同期に比べ減少しました。半導体後工程は引き続き好調に推移し、半導体分野全体では前年同期に比べ増加しました。F P D分野は低調ではあるものの、前年同期に比べ増加しました。また、新紙幣発行に伴う機器更新の需要が収束した流通機器分野は前年同期に比べ減少しました。この結果、当中間連結会計期間における受注高は41,156百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

②セグメントの業績について

(ファインメカトロニクス部門)

売上高は、半導体前工程ではロジック／ファウンドリ向け装置が順調に推移し、シリコンウェーハ向け装置も堅調に推移するなど、前年同期に比べ増加しました。F P D前工程は低調で、前年同期に比べ減少しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ増加し、25,853百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

セグメント利益は、売上増加により前年同期に比べ増加し、4,480百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

なお、受注高は、半導体前工程ではマスク向け装置、シリコンウェーハ向け装置が増加したものの、前年同期に想定以上に好調であった中国市場向けロジック／ファウンドリ向け装置が減少したほか、一部顧客の投資時期の変更の影響を受け半導体前工程全体では前年同期に比べ減少しましたが、保守・サービス関係が増加しました。F P D前工程では、前年同期に比べ増加しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高が増加し、27,518百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

売上高は、半導体後工程では生成A I 用G P Uの需要増に伴い先端パッケージ向け装置が好調に推移し、前年同期に比べ大幅に増加しました。F P D後工程及び真空応用装置は低調で、いずれも前年同期に比べ減少しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ増加し、14,108百万円（前年同期比57.6%増）となりました。

セグメント利益は、半導体後工程の売上増加により大幅な増益となり、3,371百万円（前年同期比102.7%増）となりました。

なお、受注高は、半導体後工程では生成A I 用G P Uの需要増に伴い、先端パッケージ向け装置が好調に推移しました。F P D後工程及び真空応用装置の半導体分野向けでは、市況の影響を受け低調に推移しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高が増加し、11,373百万円（前年同期比21.6%増）となりました。

(流通機器システム部門)

新紙幣発行に伴う紙幣識別機器の更新が収束し、主力の券売機の売上が低調に推移しましたが、汎用自販機及び役務の売上は堅調に推移しました。この結果、売上高は1,397百万円（前年同期比56.0%減）、セグメント利益は45百万円（前年同期比94.5%減）となりました。

(不動産賃貸部門)

不動産賃貸収入は計画どおり推移し、売上高は917百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は188百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ744百万円増加し95,989百万円となりました。これは主に、現金及び預金が7,897百万円、建設仮勘定が2,168百万円減少した一方で、仕掛品が4,118百万円、建物及び構築物が5,662百万円、投資有価証券が609百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ879百万円減少し47,047百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が745百万円増加した一方で、未払法人税等が369百万円、前受金が1,084百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,623百万円増加し48,941百万円となりました。これは主に、配当金の支払により3,655百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により5,317百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ7,897百万円減少し、20,566百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は1,047百万円（前年同期は4,561百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益の計上、減価償却費の計上により資金が増加した一方で、前受金の減少、棚卸資産の増加、法人税等の支払により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は3,130百万円（前年同期は1,131百万円の減少）となりました。これは主に、固定資産の取得により資金が減少したことによるものです。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは、4,178百万円の減少（前年同期は3,430百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は3,716百万円（前年同期は2,647百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払により資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績進捗及び足もとの顧客の投資動向等を踏まえ、2025年5月14日に公表の予想から、売上高は80,000百万円から83,500百万円へ、営業利益は10,500百万円から12,500百万円へ、経常利益は10,100百万円から12,100百万円へ、親会社株主に帰属する当期純利益は7,500百万円から8,900百万円へ、それぞれ上方修正いたします。また、通期業績予想の修正を踏まえ、配当予想につきましても200円00銭から238円00銭へ修正しております。本日（2025年11月6日）公表の「2026年3月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を併せてご覧ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,478	20,581
受取手形、売掛金及び契約資産	30,990	31,003
電子記録債権	711	858
商品及び製品	2,267	2,632
仕掛品	8,205	12,323
原材料及び貯蔵品	623	707
未収入金	2,796	2,741
その他	368	496
貸倒引当金	△285	△283
流動資産合計	74,154	71,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,315	37,305
減価償却累計額	△21,453	△21,782
建物及び構築物（純額）	9,861	15,523
機械装置及び運搬具	9,431	9,117
減価償却累計額	△7,245	△6,999
機械装置及び運搬具（純額）	2,186	2,118
工具、器具及び備品	1,859	1,939
減価償却累計額	△1,377	△1,444
工具、器具及び備品（純額）	482	495
土地	119	119
リース資産	206	201
減価償却累計額	△123	△129
リース資産（純額）	83	72
建設仮勘定	4,965	2,797
有形固定資産合計	17,699	21,126
無形固定資産		
特許権	467	505
その他	259	239
無形固定資産合計	726	745
投資その他の資産		
投資有価証券	0	609
長期前払費用	56	46
繰延税金資産	2,373	2,159
その他	234	238
貸倒引当金	△1	—
投資その他の資産合計	2,663	3,055
固定資産合計	21,089	24,927
資産合計	95,244	95,989

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,028	11,774
電子記録債務	3,171	3,515
短期借入金	7,050	7,700
1年内返済予定の長期借入金	700	—
リース債務	20	21
未払法人税等	2,501	2,132
未払費用	5,373	5,362
前受金	4,681	3,596
役員賞与引当金	175	70
受注損失引当金	14	43
製品保証引当金	135	160
その他	3,889	3,728
流動負債合計	38,742	38,107
固定負債		
長期借入金	900	900
リース債務	66	54
退職給付に係る負債	4,692	4,469
役員退職慰労引当金	38	35
修繕引当金	339	334
資産除去債務	67	67
長期預り保証金	3,078	3,078
固定負債合計	9,184	8,939
負債合計	47,926	47,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	6,939	6,939
利益剰余金	34,285	35,947
自己株式	△2,285	△2,205
株主資本合計	45,700	47,443
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	875	745
退職給付に係る調整累計額	741	753
その他の包括利益累計額合計	1,616	1,498
純資産合計	47,317	48,941
負債純資産合計	95,244	95,989

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	36,391	42,277
売上原価	22,360	25,413
売上総利益	14,031	16,863
販売費及び一般管理費	※1 8,283	※1 9,291
営業利益	5,748	7,572
営業外収益		
受取利息	41	42
受取配当金	0	0
デリバティブ評価益	0	—
協力金収入	19	21
補助金収入	—	23
その他	31	18
営業外収益合計	93	106
営業外費用		
支払利息	39	55
固定資産廃棄損	116	148
為替差損	74	45
その他	60	60
営業外費用合計	290	309
経常利益	5,550	7,369
税金等調整前中間純利益	5,550	7,369
法人税、住民税及び事業税	1,286	1,855
法人税等調整額	164	196
法人税等合計	1,451	2,052
中間純利益	4,099	5,317
親会社株主に帰属する中間純利益	4,099	5,317

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	4,099	5,317
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	261	△130
退職給付に係る調整額	36	11
その他の包括利益合計	297	△118
中間包括利益	4,396	5,198
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,396	5,198

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,550	7,369
減価償却費	1,236	1,188
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△238	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△187	△212
受取利息及び受取配当金	△41	△42
支払利息	39	55
為替差損益 (△は益)	54	△70
前受金の増減額 (△は減少)	444	△905
売上債権の増減額 (△は増加)	5,135	△177
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,737	△6,544
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,824	888
未収入金の増減額 (△は増加)	1,256	55
その他	389	△308
小計	6,077	1,293
利息及び配当金の受取額	41	42
利息の支払額	△39	△56
法人税等の支払額	△1,516	△2,327
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,561	△1,047
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△977	△2,406
投資有価証券の取得による支出	—	△609
その他	△154	△115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,131	△3,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,200	650
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17	△10
長期借入金の返済による支出	△2,200	△700
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,629	△3,655
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,647	△3,716
現金及び現金同等物に係る換算差額	263	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,046	△7,897
現金及び現金同等物の期首残高	27,199	28,464
現金及び現金同等物の中間期末残高	※1 28,245	※1 20,566

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

1 保証債務

当社の従業員の住宅資金借入金に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
従業員	1百万円	1百万円
計	1	1

2 当社は、資金調達の安定化及び効率化を図るため、取引銀行6行と特定融資枠契約（シンジケーション方式によるコミットメントライン）を締結しております。当該契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
特定融資枠契約の総額	6,000百万円	6,000百万円
借入実行残高	—	—
差引額	6,000	6,000

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
荷造費発送費	107百万円	90百万円
従業員給与及び手当	3,868	4,141
貸倒引当金繰入額	△153	△2
役員賞与引当金繰入額	64	70
退職給付費用	142	123
役員退職慰労引当金繰入額	1	2
減価償却費	889	822
研究開発費	1,864	2,032

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	28,260百万円	20,581百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△14	△14
現金及び現金同等物	28,245	20,566

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	23,363	8,950	3,175	902	36,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	502	—	61	578
計	23,378	9,453	3,175	963	36,970
セグメント利益	3,693	1,663	833	196	6,387

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,387
全社費用(注)	△577
その他	△259
中間連結損益計算書の経常利益	5,550

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	25,853	14,108	1,397	917	42,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	473	—	60	554
計	25,874	14,581	1,397	978	42,831
セグメント利益	4,480	3,371	45	188	8,086

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,086
全社費用(注)	△547
その他	△168
中間連結損益計算書の経常利益	7,369

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識に関する注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

財又はサービスの種類別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
S P E（半導体）	19,772	6,911	—	—	26,684
F P D（Flat Panel Display）	2,358	984	—	—	3,342
その他	1,232	1,055	3,175	57	5,520
顧客との契約から生じる収益	23,363	8,950	3,175	57	35,546
その他の収益	—	—	—	844	844
外部顧客への売上高	23,363	8,950	3,175	902	36,391

(注) 「その他」の区分は、自動販売機・自動券売機等を含んでおります。

また、「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入です。

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

財又はサービスの種類別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
S P E（半導体）	23,356	13,369	—	—	36,725
F P D（Flat Panel Display）	1,498	142	—	—	1,641
その他	998	595	1,397	55	3,047
顧客との契約から生じる収益	25,853	14,108	1,397	55	41,414
その他の収益	—	—	—	862	862
外部顧客への売上高	25,853	14,108	1,397	917	42,277

(注) 「その他」の区分は、自動販売機・自動券売機等を含んでおります。

また、「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入です。